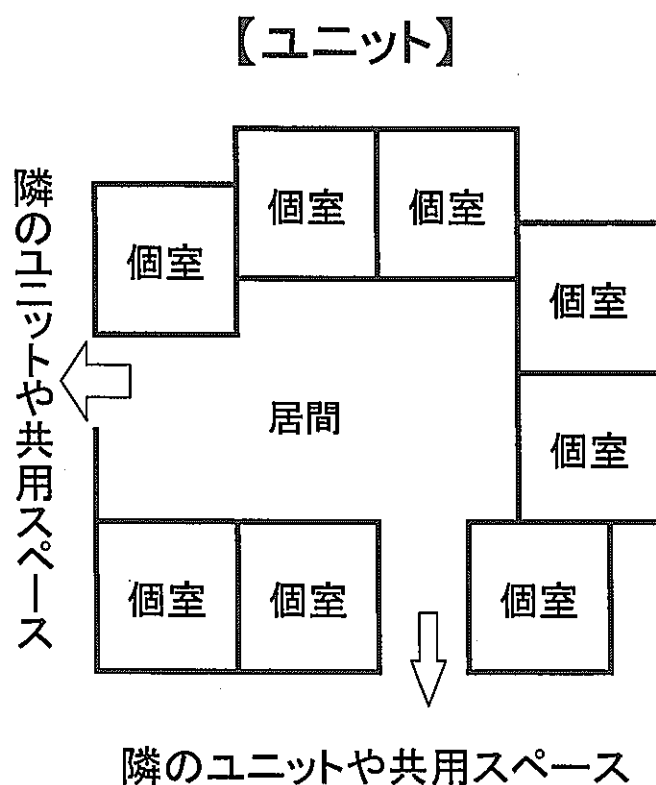


委員からご照会いただいている資料等

- 特別養護老人ホームの個室・ユニットケア（山本委員） 1
- 介護保険施設入所者の所得に関する状況（花井委員） 16
- 小規模生活単位型特別養護老人ホームにおける居住費（花井委員） . . . 20
- 介護保険における福祉用具給付の判断基準に対する意見の募集 21
- 「家庭内における高齢者虐待に関する調査」概要 51

特別養護老人ホームの個室・ユニットケア

- 特別養護老人ホームを小単位の「ユニット」に分け、ユニットごとにケアを行う。
- できるだけ家庭に近い生活を送る。
- そのために、個室と居間からユニットを構成する。



14年度より、整備に対する国庫補助を創設。

15年度より、介護報酬、運営基準を設定。

15年度より、利用者は居住費を負担。

個室化の効果

- 集団生活の中にあって自分だけのスペースが保たれる。
- 他の者とのトラブルが発生しにくい。
- 面接者や老人ホーム内の友人、職員などとゆっくり話ができる。
- 入所間もない頃や危篤状態時に家族と一緒に生活できる。
- 身辺介護(排泄、着替え、清拭など)が行いやすい。本人も他の者への気兼ねをしなくて住む(自分で行う際も同様)。
- 居室において音の問題、一般に生活で生じる音はあまり気にしなくてもすむ。
- 高齢者痴呆症状、不穏状態、幻覚、幻聴などの症状、精神的異常行為が現れたとき、他の者への影響が少なくてすむ。

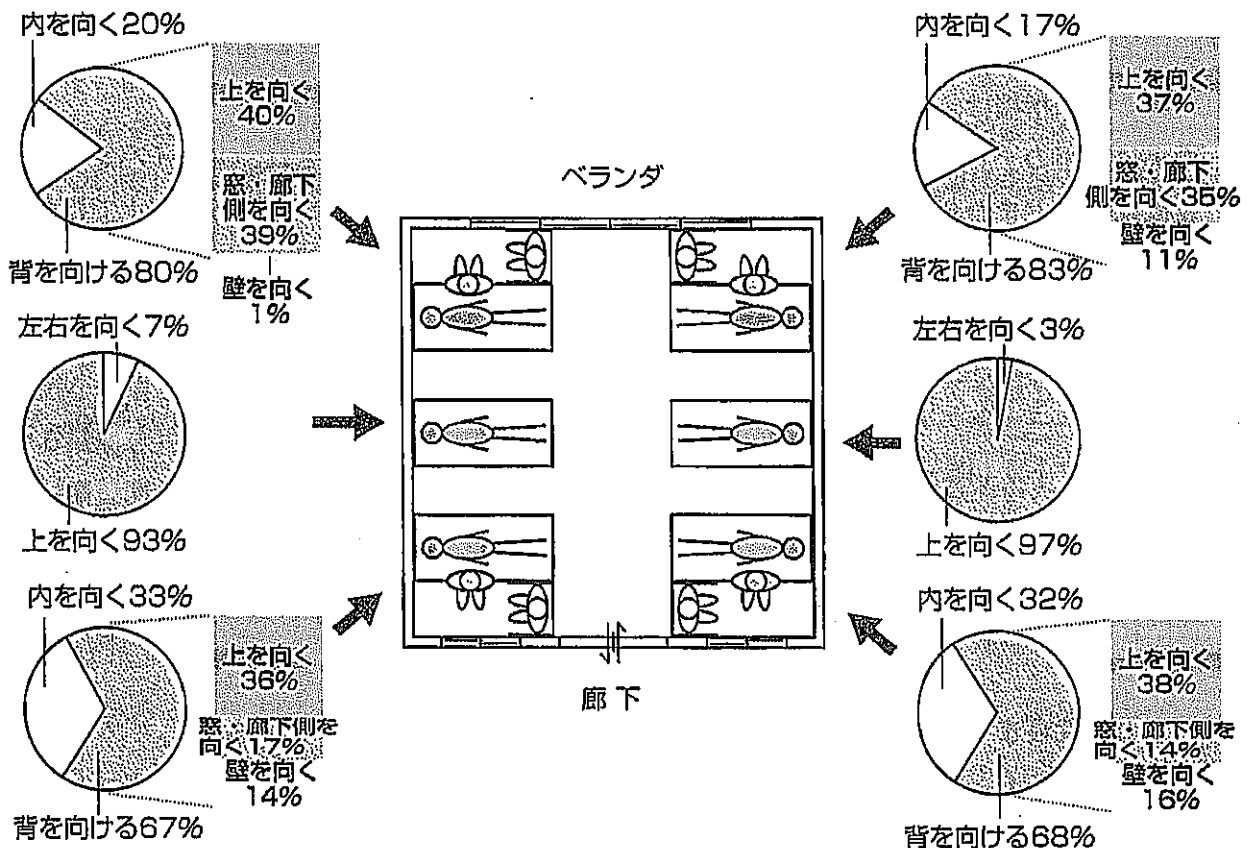
〔 日野原重明他:「新しい時代における特別養護老人ホーム」
(日本船舶振興会・1990年10月)より 〕

個室・ユニットケアの効果

○ 大部屋での生活は、入所者にストレスを与える。

6人部屋の生活

- 入所者間の会話がほとんどない部屋は全体の2/3。
- ベッド上で同室者に背を向け、無関心・没交渉である場合が7割～9割。
- 同室者への遠慮からポータブルトイレの使用を抑制したり、感情を抑制して声が出なくなるといった生理的なストレスがみられた。



(出典:「個室化・ユニットケア 特養ホームはこう変わる」)

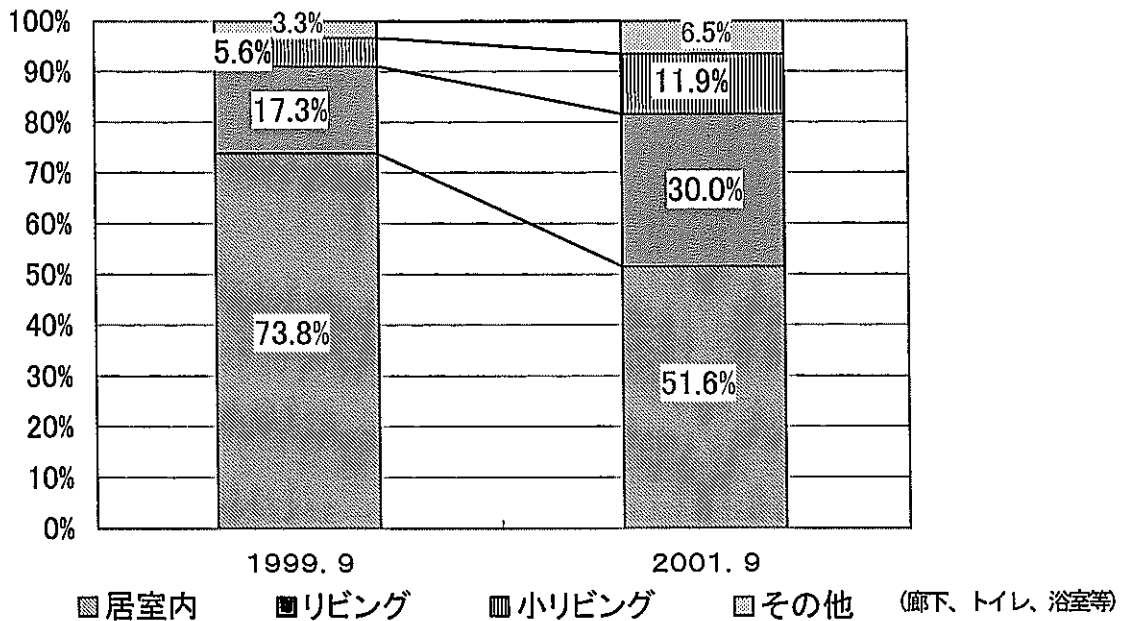
○ 個室化により、入所者の行動が変化し、生活が改善。

個室・ユニットケア導入後の入所者の生活の変化

* 6人部屋の特別養護老人ホームを建て替え、個室・ユニットケアを導入した後の入居者の生活の変化を調査。

① 日中の滞在場所は「ベッド」から「リビング」へ。

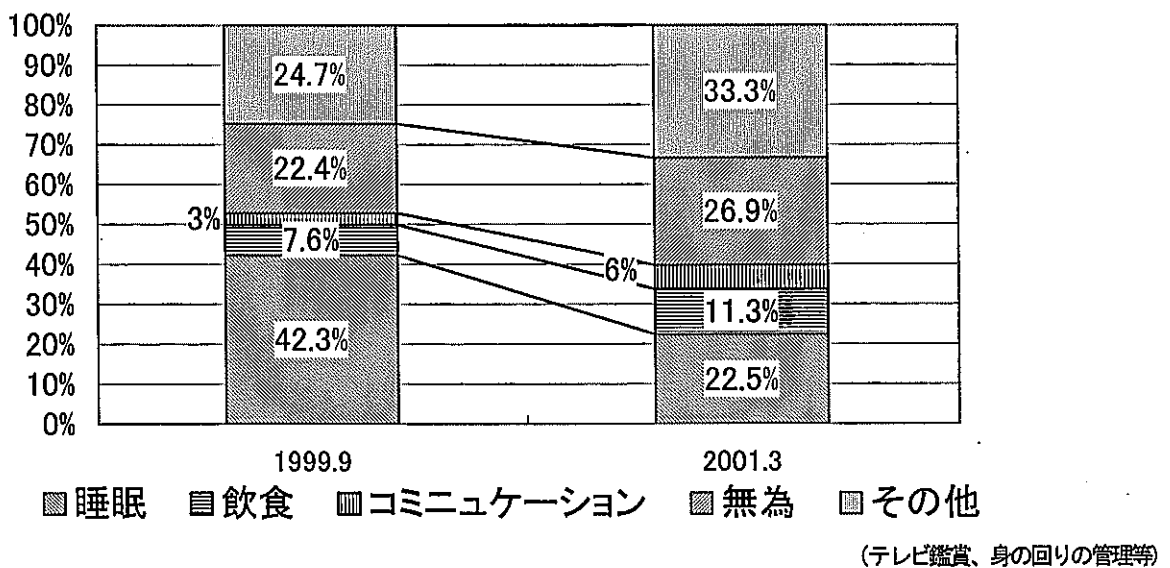
- ・居室内での滞在は減少（日中の時間の約7割→約5割）
- ・リビングや小リビングでの滞在が増加（日中の時間の約2割→約4割）



* 午前7時から午後7時までの入所者の滞在場所を調査

② 「コミュニケーション」の時間が増加。姿勢が横たわりから座位へ。

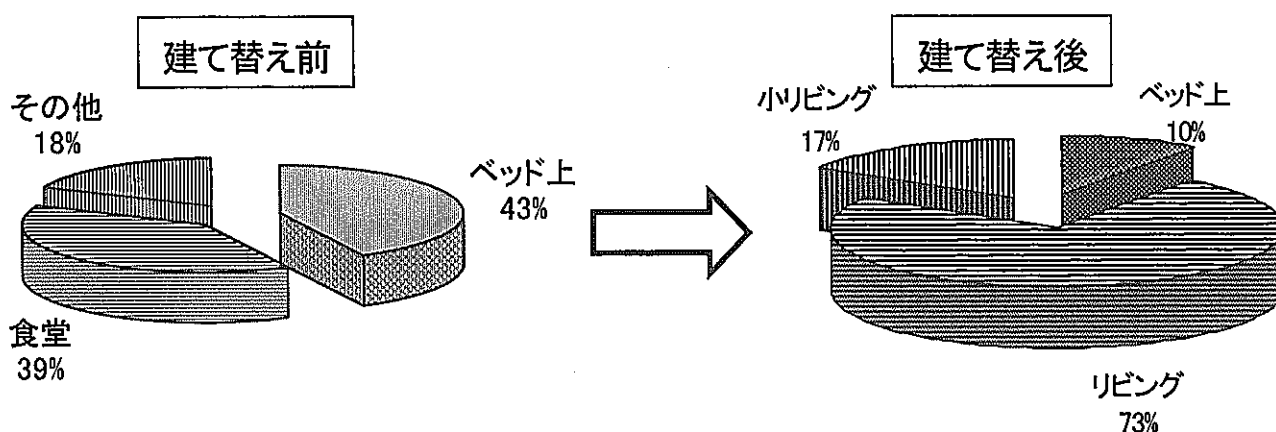
- ・ 日中の睡眠が約4割→約2割に減少。
- ・ コミュニケーションや食事の時間が増えるなど、姿勢が横たわりから座位へ。



*午前7時から午後7時までの入所者の行為を調査

③ ベッド上での食事から、リビングでの食事へ。

- ・ベッド上での食事が約4割→約1割に減少。また、食堂での食事が約4割を占めていたところ、約9割がリビング・小リビングで食事をするようになり、生活にメリハリができた。



④ 食事の摂取量が増加。

- ・一人当たり残飯量が92g→43gに減少し、逆に一人当たり食事摂取量が1,463Kcal→1,580Kcalへと増加。

⑤ 排せつの変化。

- ・ポータブルトイレの設置数が29台→14台に減少し、排せつが改善。

* 『介護保険施設における個室化とユニットケアに関する研究報告書』（平成13年3月、医療経済研究機構）・『普及期における介護保険施設の個室化とユニットケアに関する研究報告書』（平成14年3月、医療経済研究機構）による。

○ 重度者の場合の個室の効果

- 重度の人の特性に応じたきめ細かなケアが可能になる。
- インフルエンザ、結核、疥癬などの感染症の伝染を防ぐのに有効である。
(米国厚生省疾病管理・予防センターによる)
- 高齢者痴呆症状、不穏状態、幻覚、幻聴などの症状、精神的異常行為が現れたとき、他の者への影響が少なくてすむ。
(日野原重明他:「新しい時代における特別養護老人ホーム」(日本船舶振興会・1990年10月)による)
- 家族が周囲に気兼ねなく訪問できるので、家族関係が深まることにもつながる。特に、臨終に際しても住み慣れた居室で迎えることができる。



○ 高齢者介護においては、生活の継続性を重視することが求められている。

○ 高齢者のいる世帯の1人当たり平均室数は約2室であり、施設でも、個室で暮らすことが、生活の継続性という観点から望ましい。

(参考) 一人あたりの居室数

総数	1.0～1.3 室未満	1.3～1.6 室未満	1.6～2.0 室未満	2.0室以上	平均(室)
13,979	1,787 (12.8%)	2,395 (17.1%)	1,166 (8.3%)	6,731 (48.2%)	2.3

(注) 65歳以上の世帯員のいる普通世帯数

資料:平成10年住宅需要実態調査